

3. 参加資格

- ・チーム代表者は JSCA 会員(正会員・一般会員・学生会員)とし、**1 代表者につき 1 作品までの応募**とします。
- ・チーム毎の人数制限はありませんが、会場で一度に制作できる人数は 4 名以下とします。
- ・別添の応募用紙に以下の必要事項を記載し、JSCA 事務局まで e-mail にて送信してください。
e-mail のタイトルは「アイス棒タワーコンテスト 2025 参加エントリー」としてください。
- ・参加エントリーが受理されましたら、1 週間以内に事務局より e-mail でご連絡します。事務局からの連絡がない場合はエントリーが完了していない可能性が有りますので、事務局まで直接電話等での確認をお願いします。
- ・同一の会社または学校から多くの参加希望があった場合、学内や社内で応募チーム数を調整していただくお願いをすることがあります。調整依頼の連絡から 1 週間経過しても返答がない場合、出場の意志が無くなったものとみなします。
- ・登録費は不要です。
- ・コンテスト本選は、1チームにつき**参加費 5000 円**を納入するものとします。
納入手続きについては、別途本選会参加者にお知らせします。

4. 当日までのスケジュールおよび提出書類

・7/31(木) 参加エントリー受付締め切り

チーム代表者および当日のプレゼンターは JSCA 会員に限ります。他メンバーは非会員でも構いません
お問い合わせ: <https://jsca.or.jp/inquiry/> お申込み: event@jsca.or.jp

・9/30(火)作品概要説明書提出

レギュレーションへの適合を確認します。違反や疑義が見受けられた場合には、お知らせしますので、修正して再提出をお願いします。作品概要説明書は、構造の考え方や詳細(材料、かたち、接合方法等)について具体的に記述し、A3 判 1 頁にまとめてください。

文章、写真、図版等、表現方法は自由で、実作品の製作は必須ではありません。

エントリー数多数の場合、書類審査を実施する場合があります。

・肖像権使用同意書の提出

当日の模様を YouTube で配信する予定です。参加者は肖像権使用同意書(別添)の提出をお願いします。

5. 課 題

木製スティックを組み合わせてタワーを製作してください。

タワーにおもりを載せ、用意された台に据え加振を行います。タワーの**耐震性とデザイン性**を競うコンテストです。

- ・木製スティックとは、アイスクャンディーに用いる**幅 10mm, 長さ 114mm**の棒とします。
- ・木製スティック以外の材料を部材として用いることは禁止します。
- ・タワーは土台(アルミ複合版)上に製作してください。
土台とタワーは金物やワイヤー等による接合とし、**相互にずれのない取付**としてください。
- ・土台の大きさは 450x300 とします。タワーは土台中央の 300x300 内に設置してください。(300x300 より外側は加振台への取り付けしるとなります)
- ・おもりは、自在に曲げることのできるトレーニング用ウエイト**1kg(0.5kgx2)**を使用します
おもりの下端が土台から1m以上の高さとなるよう、タワーに固定してください。おもりとタワーは**相互にずれの無い取り付け**としてください。
- ・素材が木製スティックであることを確認できれば、着色もOKです。



土台とするアルミ複合版



おもり

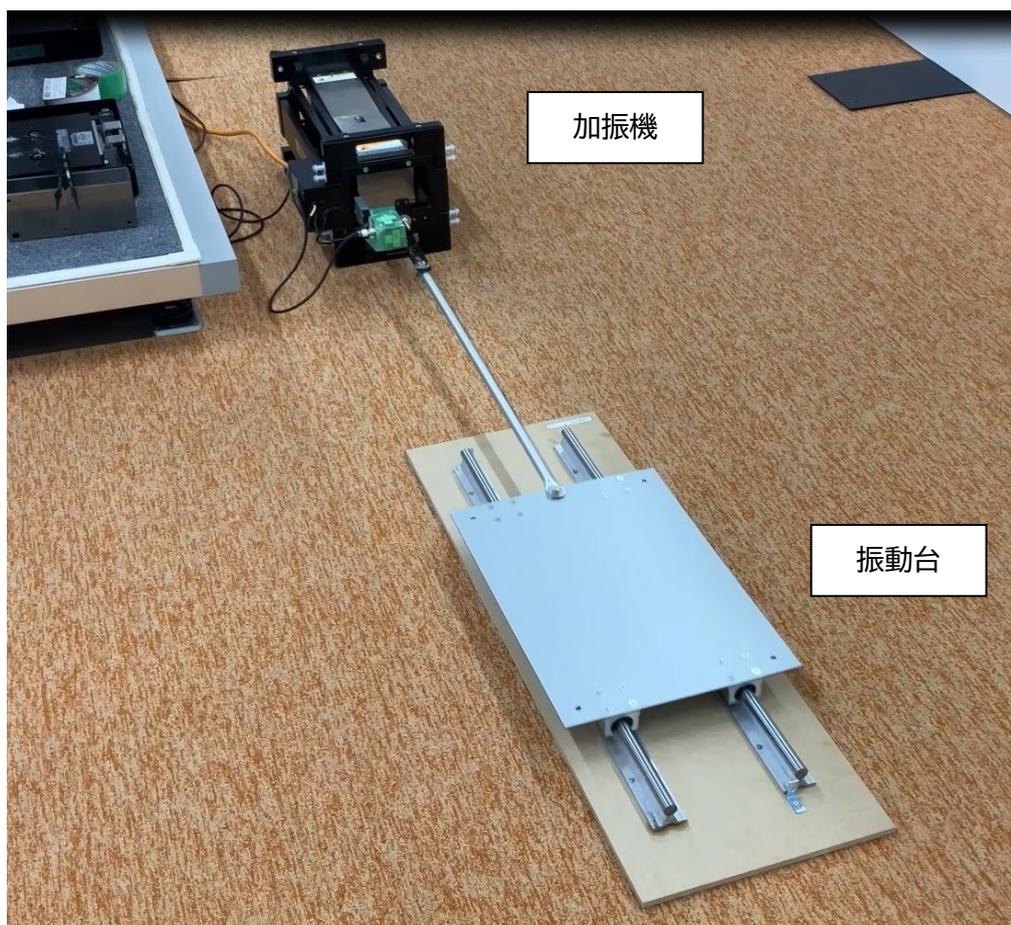
6. 競技カテゴリー

木製スティックの接合方法により、下表にある2つのカテゴリーを設けます。

	カテゴリー 1	カテゴリー 2
高さ	1m以上 (土台天端からおもりの下端までの高さ)	
おもり	1kgf(0.5kgfx2)	
接合部	嵌合のみ 木製スティック以外の材料は使用不可 ボンド等の接着剤は使用不可	接合部に木製スティック以外を使用できる ただし、使用後に分解できる取付であること ボンド等の接着剤は使用不可
使用できる 木製スティック本数	制限なし	400本以内相当 (アイス棒1本=約1.30gとし、 接合部を含む自重500g以下)

7. 加振

以下のように加振機と振動台を接続して加振を行います。



加振波のデータは JSCA ホームページで公開します。両カテゴリーとも同一波での加振を行います。

8. 賞および副賞

【審査員】

- ・細澤治 審査委員長、篠塚研究所
- ・小西泰孝 小西建築構造設計・武蔵野美術大学
- ・佐藤淳 佐藤淳構造設計事務所・東京大学
- ・山田憲明 山田憲明構造設計事務所
- ・原田麻魚 MOUNT FUJI ARCHITECTS STUDIO

【賞および副賞】

最優秀賞:賞金 10 万円

ほかにも多数の賞を準備しています。

【協賛(予定)団体賞】

審査は団体個別に行いますので、ダブル受賞も夢ではありません。

	評価指標	審査員
免震構造協会協賛 バイブレーション コントロール賞	優れたエネルギー吸収機構により揺れを制御したタワー	一般社団法人 日本免震構造協会 会長 中澤昭伸様 専務理事 北村佳久様 制振構造部会 委員長 鹿島建設 辻泰一様
ティンバライズ賞	木の柔らかさを活かした架構、または、ユニークな榫合接合とした架構	NPO 法人 team Timberize 副理事長 萩生田秀之様

9. コンテスト当日の流れ

■会場

コンテスト会場は、日本大学駿河台校舎 1号館です。(JR 御茶ノ水駅より徒歩5分)



■集合 8:30 (予定)

会場に着いたら、指定の組立場所へ行き、組立開始の合図があるまで準備をすすめてください。

チーム全員が到着したら、代表者は受付(2階 121 教室前)へ行き、チーム名プレートと参加者識別用リストバンドを受け取ってください。



以下は各チームで準備し、持参してください。

- ・組立場所のテーブルを保護するシート(新聞紙でも可、忘れたらコンビニで入手してください)
- ・作品説明概要書(A3パネル)(忘れたらコンビニで出力してください)

JSCA スタッフはビブスを着用していますので、何かあれば遠慮なくお声掛けください。

■組立場所

組立場所は、各チームともテーブルを2台つなげて使用します。



4,5 階ギャラリー: 75 x 120cm x 2 6 階 CST ホール: 45 x 195cm x 2

組立前に必ずテーブルの保護を行い、チーム名プレートと作品概要説明書の掲示をお願いします。タブレット等を掲示することは構いません。モニターなど電源が必要なものはご遠慮ください。

会場には、一般観覧者も自由に見学できます。**貴重品の管理は各チームで厳重に行ってください。**

一般観覧者との識別のため、チームメンバーはリストバンドを着用してください。

組立場所以外に荷物置き場はありません。

■組立 9:45~12:45 (予定)

審査員が組立場所を巡回します。審査員に問いかけられた場合は、作品概要説明書等を使って作品をアピールしてください。

組立中のブリッジがいたずらされたりすることのないよう、十分にご注意ください。チームメンバー全員が、どうしても席を外さなければならない場合は、お近くのJSCAスタッフにお声掛けください。

■計量

組立が完了したら、JSCAスタッフにお声掛けください。完成したブリッジの重量計測とレギュレーション適合確認を行います。

計量結果はJSCAスタッフがチーム名プレートに直接書き込みます。

組立終了時刻(12:45 予定)を過ぎると混み合いますので、完成したらすみやかに計量を済ませてください。完成後は道具やテーブル保護等の片付けをお願いします。ごみの持ち帰りにご協力をお願いします。

計量後は、JSCA係員の誘導にしたがいタワーを移動させてください。

計量後はタワーに加工を加えてはいけません。

■試技 13:30~18:20 (予定)

試技は、6階 CST ホールのステージにておこないます。

- ・ステージには、2つの試技場(ステージAとステージB)を準備します。前の組の試技中に、載荷台へタワーを据えてください。
- ・タワーの移動および据え付けはすべてチーム員自ら行ってください。
- ・ブリッジの据え付けが完了したら、ステージ上で記念撮影を行います。これを公式写真としてJSCA ホームページに掲載します。チーム名プレートを忘れずに持参ください。

- ・各チームとも試技プレゼンの**持ち時間6分(予定)**です。
- ・試技中、チームメンバーは原則全員ステージに上がり、プレゼンテーションを行ってください。
- ・はじめにチーム名プレートを掲げ、チーム名(チームメンバー紹介)、作品タイトルを発表してください。つぎに、「アイス棒本数(計測された自重から換算)」「レギュレーション確認結果」を読み上げ、その後プレゼンを開始してください。
- ・試技プレゼンに会場スクリーンは使用できません。
- ・審査員とのコミュニケーションが本コンテストの醍醐味です。審査員からのアドバイスやコメントをお楽しみください。

■表彰式・閉会式 19:00~

- ・審査結果を発表します。
- ・賞状は後日郵送します。

10. 応募資料(作品説明概要書、作品)および著作権の取扱い

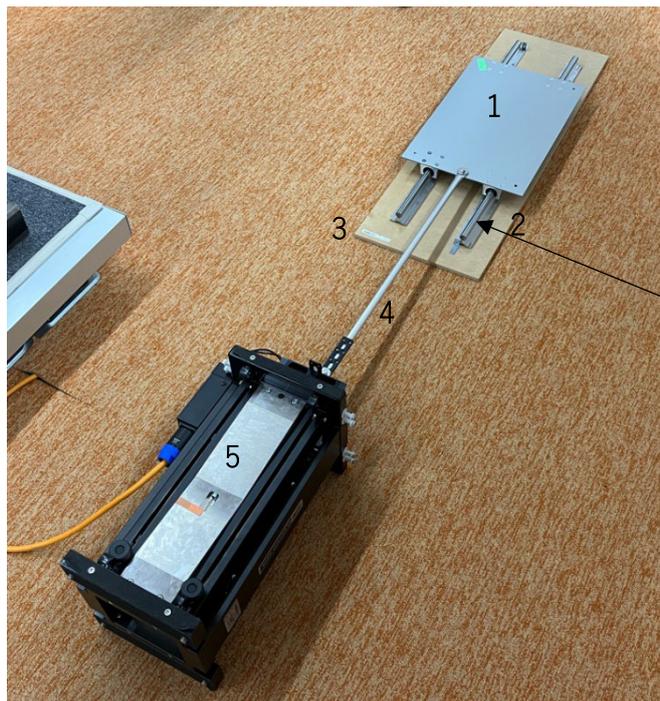
- ・JSCA は応募資料について以下の方法で広く発表することができることとします。
 - ① 発表者による講演およびパネル展示
 - ② JSCA 機関紙(structure)および JSCA ウェブサイトへの掲載
 - ③ 新聞社、雑誌社への公表および他機関への紹介
 - ④ 冊子およびデジタル媒体での提供
- ・応募資料の著作権は応募者に帰属します。ただし、JSCA は上記の①～④に際し応募者が作成した応募資料を無償にて利用できるものとします。
- ・応募資料に写真など第三者の著作権が存在する場合は、応募者がコンテストへの応募および機関紙への掲載ならびに上記に規定する事項について、当該第三者の許諾を得ているものとします。
- ・個人情報は JSCA にて厳重に管理し、本コンテストに関連すること以外には使用しません。
- ・応募の際は本募集要項の記載事項について同意した上で申し込んでください。

11. その他

- ・ 使用材料は応募者にてご用意をお願いします。アイス棒の木材の材種に特段の指定はありません。「木製スティック」の商品名で市販されている場合が多く、異なるサイズの商品があるので、お間違えのないように選定してください。
- ・ 組立てに必要な工具、治具は応募者各自でご用意ください。
- ・ 会場の電源は原則使用できません。制作にあたり電源がどうしても必要な場合は、事務局にお問い合わせください。
- ・ 当日の組み立て作業前には「アイス棒がバラバラである」状態としてください。あらかじめ部材にマーキングがされていても問題ありません。
- ・ 会場までの交通費は応募者にて、ご負担をお願いします。
- ・ 当日、会場では一般客の見学・観覧を受け付けます。特に、貴重品は各チームで厳重に管理してください。チームの制作エリア内部はチーム員以外の立ち入りを禁止しますが、目を離した際にブリッジが破損したり、部品が紛失することの無いよう、十分に気を付けてください。
- ・ JSCA 機関誌「structure」にて各賞の受賞者を発表するとともに、新聞社、雑誌社への公表を予定しています。
- ・ ご質問のある方は、JSCA 事務局まで e-mail にて送信してください。e-mail のタイトルは「アイス棒タワーコンテスト 質問」としてください。質問の受付期限は 7/末日とします。
- ・ JSCA 建築構造士評価点及び建築 CPD 情報提供制度の対象ではありません。

お問合せ:(一社)日本建築構造技術者協会 事務局 <https://jsca.or.jp/inquiry/>
JSCA への入会方法等、詳細は HP をご覧ください。(<http://www.jsca.or.jp/>)

【振動台の仕様】



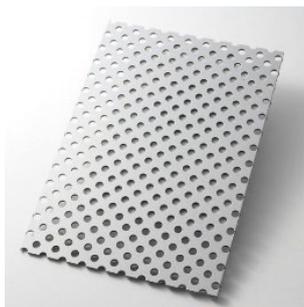
産業・研究開発用品 > FA・メカニカル部品 > 直動部品 > リニアガイド



1. アルミ複合版t3 300x450 リニアガイドとネジ留め (参考価格 987 円:スーパービバホーム)
2. リニアガイド+スライドレール 長さ 100cm (参考価格 6126 円:Amazon)
3. レール台 パーティクルボードt18(参考価格 1580 円:スーパービバホーム)
4. 接続棒(アルミパイプ)
5. 加振機

土台 アルミ複合版(穴あき)

(参考価格 1580 円:スーパービバホーム)



【おもり】

曲がるウェイト 0.5 kgx2(参考価格 1509 円:Amazon)



□制作者の識別

コンテスト当日の制作メンバー交代は可能です。ただし、同時に制作できる人数は最大4名までとします。

コンテスト当日は、一般見学者も会場内を巡回します。制作中の作品が見学者にいたずらされたりすることのないよう、身の回りには十分にご注意ください。

一体感を高めるチームウェアでのご参加は大歓迎です！



写真)2021 アイス棒タワーコンテストのひとコマ

□懇親会

全力を出せたチームも、いつかリベンジを誓うチームも、コンテストが終われば戦友です。

JSCAでは、参加いただいた皆さんとの交流を目的に、コンテスト後に懇親会を企画しています。

詳細は後日お知らせします。

肖像権使用同意書

作成日 2025 年 月 日

私は貴協会(一般社団法人 日本建築構造技術者協会)に対し、貴協会が私の肖像等を 2025 年 11 月 29 日に撮影した動画及び画像について、下記の定める使用範囲において無償で使用することに同意します。また、撮影した動画及び画像に私を代表者とするチームの私以外の方の肖像等が映っている場合でも、私を代表者として、下記の定める使用範囲において無償で使用することに同意します。

■チーム名 _____

■代表者氏名 _____

本動画及び本画像の使用期間(下記にチェックを入れてください)

使用期間を制限しません。

【使用範囲等】

1. 本動画及び本画像を、貴協会のホームページや機関紙等の媒体で使用されることを許可いたします。また、媒体へ使用されなかった場合でも、異議申し立てを行いません。
2. 本動画及び本画像の一部編集や説明文追加等に対して異議申し立てを行いません。
3. 本動画及び本画像のデータ、それを出力した印刷物等の提供を求めません。